

DO FOR OTHERS
150TH
ANNIV.



MEIJI GAKUIN
UNIVERSITY
明治学院大学

マスコミ関係各位

2013年11月21日

明治学院大学ボランティアセンター主催シンポジウム 12月1日(日)開催

震災後の社会をどのように生きるか

大槌町の小学生や高校生とともに若者たちが「震災後の生き方」を考えます

明治学院大学ボランティアセンターは、東日本大震災から2年8か月が過ぎた今、「震災後の社会をどのように生きるか」をテーマにシンポジウムを開催します。

当日は、継続的に復興支援に取り組む本学学生たちだけでなく、支援先でお世話になっている大槌町から吉里吉里小学校の児童や大槌高等学校の生徒・山形守平校長も来校します。また、本学と同じように積極的にボランティアを行っている横浜隼人高等学校の生徒たちも加わる予定です。

これからを担ってゆく「若者」たちが集い、それぞれ異なる立場から考える「震災」について、また復興支援への関わりなどの経験から、彼らがそこで何を学び、これからの生き方にどのようににつなげてゆくか、参加者とともに考え、共有する場となれば幸いです。

ぜひイベントの告知ならびに当日の取材をご検討いただければ幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

■日時: 12月1日(日) 10:00 ~ 15:30 (開場 9:30)

■会場: 明治学院大学 白金キャンパス 本館10階 大会議場

JR品川駅・目黒駅よりバスで10分 東京メトロ白金高輪駅、白金台駅より徒歩7分 ※お車でのお越しはご遠慮ください。

■プログラム:

10:00 オープニング: 開会挨拶、趣旨説明

10:20 第1部 基調講演「わたしたちはもう東京からの言葉で指図されるのはことわる」

講演: 猪瀬浩平(明治学院大学教養教育センター准教授)

11:10 第2部 東日本大震災の復興を担う学生・生徒からの発表

* 芳賀 勝(はが・しょう)くん (大槌町吉里吉里小学校6年/動画「生きる312」の主人公)

* 大槌高等学校の生徒 3名

* 本学「Do for Smile@東日本」プロジェクト 大槌吉里吉里復興支援プログラム参加学生

13:25 第3部 ディスカッション「震災後の社会をどう生きるか」

■定員: 80名 事前申込制/入場無料

■申込方法: メール(voluntee@mail.meijigakuin.ac.jp)に

①タイトル名「12月シンポジウム」②氏名 ③ご所属 ④連絡先メールと電話番号
を記載の上、お申し込みください。 ※電話での受付も可。

■締切: 11月29日(金)まで

■主催: 明治学院大学 ボランティアセンター

■申込・お問い合わせ: 明治学院大学ボランティアセンター TEL03-5421-5131(平日 10:00~17:00)

取材のお問い合わせは…

明治学院大学 総合企画室(広報)

担当: 渡辺、宮城

〒108-8636 東京都港区白金台1-2-37 Tel: 03-5421-5165(直通) Fax: 03-5421-5185

koho@mguaad.meijigakuin.ac.jp

http://www.meijigakuin.ac.jp